

Spin Chemistry Meeting 2019 参加報告

総合文化研究科広域科学専攻関連基礎科学系

ウッドワード研究室 修士2年

佐藤 将也

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、ロシアのサンクトペテルブルクで開催された Spin Chemistry Meeting 2019 に参加した。本学会は2年に1度開催され、スピンに関する各分野の研究報告が行われる。今年は学会が始める前日に学生向けのチュートリアルとして、複数の著名な研究者による講義が行われた。

この会議で、私は「Establishing shaped pulse RYDMR based fluorescence and transient optical absorption microscope method」というタイトルでポスター発表を行った。自分の研究内容を説明するだけでなく、Future Work に関するアドバイスをいただいたり、個別に質問対応をしたりと実りの多い時間になった。また、他のアジア系の学生がヨーロッパの大学で研究したことを流暢な英語で熱心に説明している姿を見て、尊敬の念をいなくとともに、自分の至らなさに少し悔しい思いをした。

5日間の学会を通して、スピン化学の知識だけでなく、新しい友人も得た。ぎこちない英語でも様々な話題で盛り上がり、とても貴重な経験ができた。

最後に、このような機会を与えてくださった広域科学専攻の海外渡航助成プログラムに感謝申し上げます。

